

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

宮崎県小林市 小林市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	対象	透訓	救 臨 感 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
42,944	12,077	第2種該当	第2種該当	7 : 1

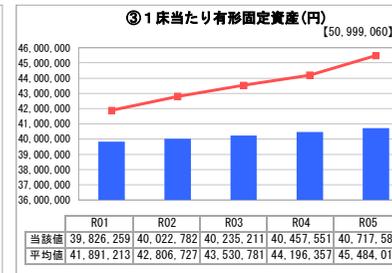
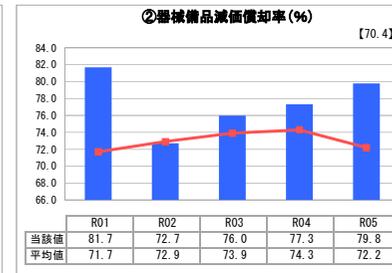
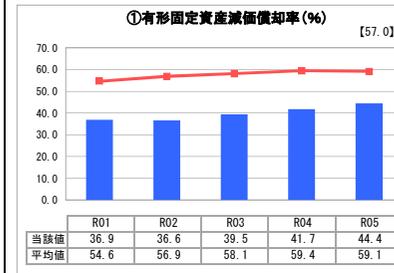
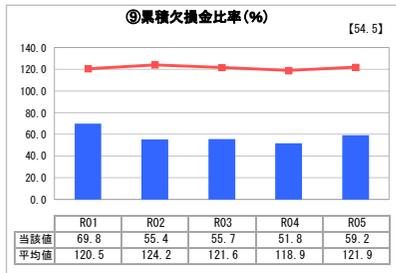
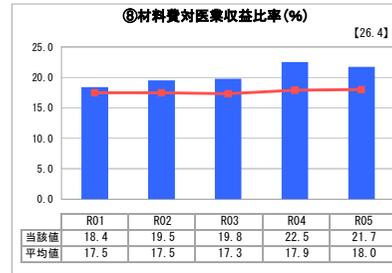
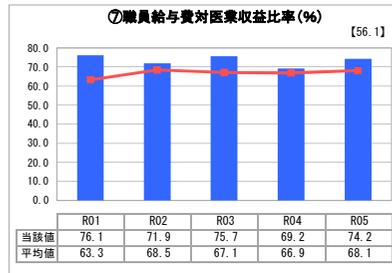
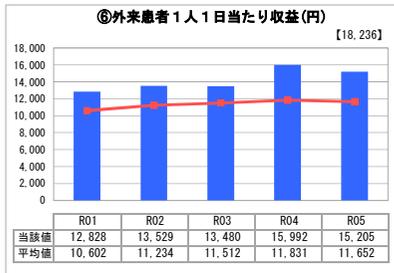
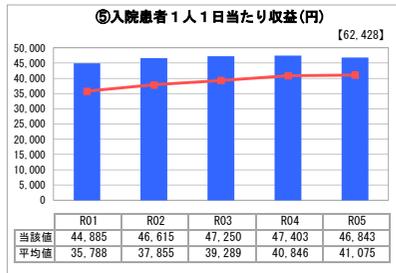
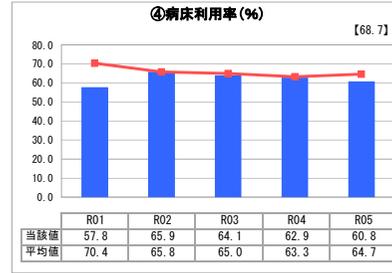
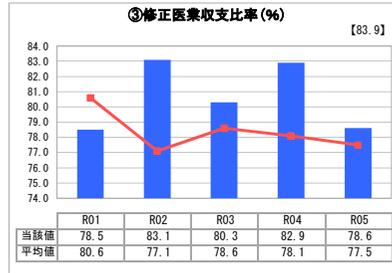
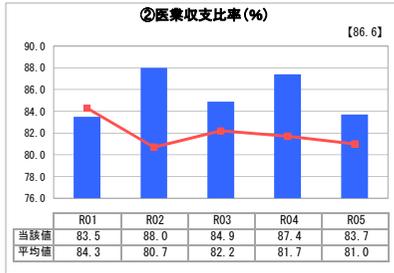
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
143	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	147
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
121	-	121

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

継続的取組（従来の取組・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

西諸医療圏の中核病院として位置づけられ、救急告示病院や感染症指定医療機関、災害拠点病院等の役割を担っている。また、第一次救急医療機関として救急や検査、手術等を主務とした医療を担っている。更には地域医療支援病院として、かかりつけ医を支援する後方支援の役割が求められている。令和元年度には小児科の常勤医師が着任するなど地域に不足する診療科や不採算医療の提供も担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

入院及び外来患者の1人1日当たりの収益は微減であり、入院・外来いずれの患者数も減となったことから医業収益は減少となっている。  
また、今年度は経常収支比率は95.9%であり、5.8ポイント減となった。これは、入院・外来いずれの患者数も減となったことによる医業収益の減少に加えて、医業費用で材料費や経費が減少した一方、給与費及び減価償却費が増加したことが主な要因である。

#### 2. 老朽化の状況について

平成21年に改築した当院施設も15年目を迎え、建物には災害等による修繕が多く見られ、医療機器についても経年劣化による機器の入れ替えが著しく、年々経費がかさんでいる。中長期的な更新計画に基づいて老朽化対策を講じているが、安定的な財源確保が伴わず計画どおりの実施が困難となっている。また、産婦人科の分統再開に伴い整備した医療機器や、新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金を活用し更新した医療機器などにより、今後も減価償却費は増加していくものと予想される。

### 全体総括

本年度の決算は、昨年度までは黒字決算であったが赤字決算となった。赤字額は、112,751千円となり、当年度未処理欠損金は、1,277,112千円となった。赤字の主な要因は、前年度と比較して入院患者数の減に伴い入院収益が約68,000千円減少したことや、外来収益が約34,000千円減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症対応に係る国庫補助金が減少したことが主な要因である。今後も給与や診療材料費、減価償却費などが増加する見込みであるため、長年の課題でもある内科医を始めとする医師不足解消に向けた関係機関との連携や多職種連携に伴う、業務効率化が肝要である。

今後ますますの高齢化や少子化による人口減少に対応するため、地域包括ケアシステムや在宅医療を視野に入れた病院運営が必要となる。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。